

# 研究を支える保育園

けやき保育園

**本**郷キャンパスに愛らしい声の響く、小さな施設が新設されたのをご存じだろうか。「子育て」と「研究」の両立を支援する目的で、今年4月に開園したけやき保育園だ。

学内の教職員と学生が利用でき、3歳未満の乳幼児が対象。定員は30名で、保育は平日の朝から夕方までの10時間を基本とするが、夜9時まで延長できる。

「ゼロ歳児でも延長保育をしてくれるので、助かります」と話すのは、ここにお嬢さんを預ける浅野友子助教。附属演習林研究部に所属し、普段はキャンパスで文献集めやデータの分析をしているが、演習林での実験や野外調査で遅くなる時もある。そんな時、遅くまで子どもをみてもらえるのはありがたい。

生圏システム学専攻森園管理学の高橋陽子助教も「安心していただけるので、研究に没頭できる」とメリットを話す。けやき



けやき保育園 施設長 吉田 敬子先生

本郷けやき保育園

総務 小島山 朱



附属演習林研究部  
浅野 友子助教(右)  
生圏システム学専攻森園管理学  
高橋 陽子助教(左)

保育園には看護師が常駐しており、アレルギー症状がある幼児でも安心して預けていただける。「子どもも毎朝、楽しそうに通っています」と高橋助教は目を細める。

施設長の吉田敬子先生は、イギリス幼児教育の名門ノーランドカレッジへの留学経験をもつ。英国流ナニー教育を学ぶと同時に西欧と日本の子育ての違いも見えてきた。

そういえばこの園も、学内の保育園だけあって、子どもたちの国籍もさまざま、国際性豊かだ。

「これはとてもいい環境だと思います」と吉田先生は話す。「なかなかこういう場を作ろうとしてもできません。いろんな国の子どもたちが、同じフロアで一緒になって泣いたり、笑ったり。素晴らしいと思いませんか?」

本郷キャンパスにはこのほか東大病院の経営するいちよう保育園があり、さらにこの10月には白金キャンパス、12月には柏および駒場Ⅱキャンパスに保育園がオープンする。

最後に浅野先生と高橋先生に「なにか悩みは?」を訊くと、二人は異口同音に3年後の話をした。

けやき保育園の保育対象は3歳児まで。だから3年後、別の園を探さなければいけないという。「ここでそのままみてもらえれば、とても嬉しいのですが……」



## 問合せ先

〒113-8654

東京都文京区本郷7-3-1

本部労務・勤務環境グループ勤務環境・

共済チーム 保育園担当

(本部棟5階)

TEL: 03-5841-2174、2068